

ます。

以上でございしますが、慎重御審議を賜りまして、原案どおり御同意くださるようお願い申し上げます。説明にかえらせていただき、よろしくお願い申し上げます。

○議長（小林菊三君）以上で提案理由の説明は終わりました。

これより本案に対する質疑を行います。

○六番（村尾栄次君）ちょっと伺いたいのですが、工期が八月十五日というところかなり暑さも峠を越したということになります。これはもう少し七月二十ごろまでに完了ということにならないとむだになってしまう。昼夜兼行でもいいが、間に合わせるようにしないとせかくの工事がむだになってしまう。ですからこういうことを考えてやっていただきたいと思います。その点について伺いたいと思います。

○総務部長（浅見裕康君）確かに御指摘のとおりでございまして、工期の設定につきましてはいろいろ設計事務所と協議しましたが、御案内のとおり当初予算で設計を組んで発注となります。機器関係が受注生産となります。

ので、本来なら九月に入るぐらいかかるという話でございましたが、それを十分努力していただきました。たまたまそういった精算過程において、ほかの若干余裕のあるような機器の生産を後回しにしてもやっていたかどうかのような要望をいたしました。それでようやく八月十五日という工期になった次第でございまして、御指摘のとおりでございしますが、ぎりぎりの工期ということで御了解賜りたいと思います。

○議長（小林菊三君）以上で質疑を終わります。

○四番（高水 求君）この際動議を提出いたします。

ただいま議題となっております議案第三十八号については、委員会付託及び討論を省略し、原案のとおり同意されることを望みます。

（「賛成」と呼ぶ者あり）

○議長（小林菊三君）お諮りいたします。

ただいま高水惣八君から、本案は原案どおり同意されたい旨の動議が提出されましたが、本動議のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小林菊三君）御異議なしと認めます。よつて議案第三十八号は原案のとおり同意いたしました。

○議長（小林菊三君）暫時休憩いたします。

午後零時八分 休憩

午後三時四分 開議

○副議長（村尾栄次君）休憩前に引き続き会議を開きます。

議長小林菊三君から議長の辞職願いが提出されております。

お諮りいたします。

この際、議長の辞職許可についてはほか一件を日程に追加し、議題とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（村尾栄次君）御異議なしと認めます。よつて議長の辞職許可についてはほか一件を日程に追加し、議題とすることに決定いたしました。

○副議長（村尾栄次君）追加日程第一議長の辞職許可についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本件については、議長小林菊三君の一身上に関するものであり、地方自治法第百七条の規定により除斥することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（村尾栄次君）御異議なしと認めます。よつて小林菊三君を除斥することに決定いたしました。

（十三番小林菊三君除斥）

○副議長（村尾栄次君）事務局長をして辞職願いを朗読いたさせます。

（森田議会事務局長朗読）省略

○副議長（村尾栄次君）朗読は終わりました。

お諮りいたします。

本件については願ひ出のとおり許可することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（村尾栄次君） 御異議なしと認めます。よつて小林菊三君の議長の辞職願いは許可することに決定いたしました。

（十三番小林菊三君入場）

○副議長（村尾栄次君） 追加日程第二議長の選挙を行います。

選挙は投票により行います。

議場を閉鎖いたします。

（議場閉鎖）

○副議長（村尾栄次君） ただいまの出席議員数は二十二人であります。

お諮りいたします。

会議規則第三十条第二項の規定により、立会人に

五番 東浦春浪君

七番 森田治男君

を指名することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（村尾栄次君） 御異議なしと認めます。よつて立会人に五番東浦春浪君、七番森田治男君を指名いたします。

○副議長（村尾栄次君） 投票用紙を配付いたします。

（投票用紙配付）

○副議長（村尾栄次君） 投票用紙の配付漏れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（村尾栄次君） 配付漏れなしと認めます。

○副議長（村尾栄次君） 投票箱を改めさせます。

（投票箱点検）

○副議長（村尾栄次君） 異状なしと認めます。

念のために申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、点呼に応じて順次投票を願います。

事務局長をして点呼いたさせます。

（森田議会議務局長点呼）

(順次投票)

○副議長(村尾栄次君) 投票漏れはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○副議長(村尾栄次君) 投票漏れなしと認めます。

○副議長(村尾栄次君) 投票を終了いたします。

○副議長(村尾栄次君) 開票を行います。

五番東浦春浪君及び七番木林田治男君の立ち会いを願います。

(開票)

○副議長(村尾栄次君) 事務局長をして選挙の結果を報告いたさせます。

○議会事務局長(木林田 進君) 報告いたします。

投票総数 二十二票

有効投票 二十二票

無効投票 なし

有効投票中

末次性男議員 二十票

松山 清君 二票

以上でございます。

○副議長(村尾栄次君) ただいま事務局長が報告したとおりであります。

この選挙の法定得票数は六票であり、末次性男君が議長に当選され

ました。(拍手)

よって、会議規則第三十一条第二項の規定により、本席より当選の告知

をいたします。

○副議長(村尾栄次君) 議場の閉鎖を解きます。

(議場開鎖)

○副議長(村尾栄次君) 議長末次性男君からごあいさつを願います。

(議長末次性男君登壇)

○議長(末次性男君) 慎しんでごあいさつを申し上げます。

ただいまの議長の選挙によりまして、不肖私が議長に選ばれました。

まことに感激のいたりでございます。と同時に、またその責務の重大さを痛

感いたしました。身の引き締まる思いでございます。

申し上げるまでもなく、議長は主として議会運営の重責を担っているわけ
でございますけれども、これが円滑なる運営を図るためには、何と申しまし
ても議員各位の御協力なくしては不可能でございます。そういう意味にお
きまして、前の小林議長に寄せられましたと同様、格別の御協力を心か
らお願い申し上げる次第でございます。また、議会運営委員会に対し
して、委員会がこれからまた新たに組織されるでありましたようけれども、
いろいろと御相談を申し上げまして運営を図っていく所存でございます。
きわめて抽象的なことばになりますけれども、私どもの本来の任務であ
りますところの福生市民の福祉の増進、福生市の発展のためには、議員
各位とともに渾身の努力を続ける所存でございますので、今後ともよろ
しく御協力のほどをお願いいたします。

以上をもちまして議長就任のごあいさつにかえさせていただきます。あり
かとうございました。（拍手）

○副議長（村尾栄次君） 以上で議長の選挙は終わりました。
議長末次性男君、議長席にお着き願います。

（議長末次性男君議長席に着く）

○議長（末次性男君） これより暫時休憩いたします。

午後三時二十三分 休憩

午後三時四十二分 開議

○議長（末次性男君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

副議長村尾栄次君から副議長の辞職願いが提出されております。

お諮りいたします。

この際、副議長の辞職許可についてほか一件を日程に追加し、議題とす
ることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（末次性男君） 御異議なしと認めます。よって副議長の辞職許可に
ついてほか一件を日程に追加し、議題とすることに決定いたしました。

議長（末次性男君） 追加日程第三副議長の辞職許可についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本件については、副議長村尾栄次君の一身上に関するものであり、地方自治法第百七条の規定により除斥することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（末次性男君） 御異議なしと認めます。よって村尾栄次君を除斥することに決定いたしました。

（六番村尾栄次君除斥）

議長（末次性男君） 事務局長をして辞職願を朗読いたさせます。

（森田議会事務局長朗読） 省略

議長（末次性男君） 朗読は終わりました。

お諮りいたします。

本件については願い出のとおり許可することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（末次性男君） 御異議なしと認めます。よって村尾栄次君の副議長の辞職願いは許可することに決定いたしました。

（六番村尾栄次君入場）

議長（末次性男君） 追加日程第四副議長の選挙を行います。

選挙は投票により行います。

議場を閉鎖いたします。

（議場閉鎖）

議長（末次性男君） ただいまの出席議員数は二十二人であります。

お諮りいたします。

会議規則第三十条第二項の規定により、立会人に

八番 山崎繁三郎君

九番 小野沢久君

を指名することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長の辞職
許可について

議長の選挙

副議長の辞職
許可について

副議長の
選挙

辛

報二

発言訂正

報三

議三十六、
三十七

議三十八

○議長（末次性男君） 御異議なしと認めます。 よって立会人に八番山崎繁三郎君、九番小野沢久君を指名いたします。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(末次性男君) 配付漏水なしと認めます。

○議長(末次性男君) 投票箱を改めうせます

(投票₄₄相点検)

○議長（末次性男君）異状なしと認めます。

念のために申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、点呼に応じて順次投票を願います。

事務局長をして点呼いたさせます。

(木田議事事務局長点呼)

(順次投票)

○議長（末次性男君）投票漏れはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（末次性男君）投票漏れなしと認めます。

○議長（末次性男君）投票を終了いたします。

○議長（末次性男君）開票を行います。

八番山崎繁三郎君及び九番小野沢久君の立ち会いを願います。

(開票)

○議長（末次性男君）事務局長をして選挙の結果を報告いたさせます。

○議会議務局長（森田進君）報告いたします。

投票統數 二十二票

有効投票 二十二票

無効投票なし

有効投票中

森田治男議員二十票

原敏子議員二票

以上でございます。

○議長（末次性男君） ただいま事務局長が報告したとおりであります。
この選挙の法定得票数は六票であり、森田治男君が副議長に当選さ
れました。

よって、会議規則第三十一条第二項の規定により、本席より当選の告知
をいたします。

○議長（末次性男君） 議場の閉鎖を解きます。

（議場開鎖）

○議長（末次性男君） 副議長 森田治男君からうごあいさつをお願いします。

（副議長 森田治男君登壇）

○副議長（森田治男君） ごあいさつ申し上げます。

若輩者の私に、福生市議会副議長という大役を仰せつけられました。
身に余る光栄でございます。議長の補佐役として福生市発展のために尽
力したいと思っております。

皆様方の絶大なる御協力をお願い申し上げます。ごあいさつにかえさせ

ていただきます。どうもありがとうございます。（拍手）

○議長（末次性男君） 以上で副議長の選挙を終わります。

○議長（末次性男君） 暫時休憩いたします。

午後三時四十六分 休憩

午後四時五十一分 開議

○議長（末次性男君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

お諮りいたします。

本日の会議時間は午後五時までとなっておりますが、議事の都合上、
あらかじめ延長することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（末次性男君） 御異議なしと認めます。よって本日の会議時間は延
長することに決定いたしました。

○議長（末次性男君） 暫時休憩いたします。

午後四時五十二分 休憩

午後七時三分 開議

○議長（末次性男君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

この際、会期の延長を日程に追加したいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（末次性男君） 御異議なしと認めます。よって会期の延長を日程に追加し、議題とすることに決定いたしました。

○議長（末次性男君） 追加日程第五会期の延長を議題といたします。

この際、会期を五月十二日までの一日間延長したいと思いますか、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（末次性男君） 御異議なしと認めます。よって会期を五月十二日までの

一日間延長することに決定いたしました。

○議長（末次性男君） お諮りいたします。

本日はこの程度にとどめ延会したいと思いますか、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（末次性男君） 御異議なしと認めます。よって本日はこの程度にとどめ延会することに決定いたしました。

なお、次回本会議は、十二日午前十時から開きますので御了承願います。

本日はこれをもちて延会いたします。

午後七時四分 延会

写 福総庶発第四百五十号

昭和五十六年五月二日

福生市長 田 村 匡 雄 印

福生市議会議長

小 林 菊 三 殿

昭和五十六年第二回福生市議会臨時会の招集について

昭和五十六年五月二日付け、福生市告示第二十七号（別紙参照）をもつて、昭和五十六年第二回福生市議会臨時会を招集したので通知します。